

Title	日本におけるマネジメントバイアウト (MBO) 戦略 - 活力のある日本企業を多数 生み出すために -
Sub Title	
Author	阿部, 東洋(Abe, Touyou) 山根, 節
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2006
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2006年度経営学 第2108号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002006-2108

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	山根研究会	学籍番号	80530020	氏名	阿部 東洋
日本におけるマネジメントバイアウト (MBO) 戦略 —活力のある日本企業を多数生み出すために—					
<p>本研究には3つの目的がある。</p> <p>第1の目的は、まだ調査・研究が全く行われていない日本のMBOの全体像を明らかにし、日本におけるMBO市場の将来像を推察することである。</p> <p>第2の目的は、日本のMBOで最も盛んと言われている、親会社からの子会社や事業部門の独立（事業再編型MBO）について実態を明らかにするとともに、業績に与える影響やMBOを実現するプロセス、組織変革の仕方を体系化することである。</p> <p>第3の目的は、日本経済活性化のため、今後のMBO活用に関する戦略提言を行うことである。</p> <p>なお、研究にあたり、先行研究や入手可能データが限られていたため、新聞記事、文献、雑誌、ホームページ等からのデータ抽出やケース作成、郵送によるアンケート調査等を行い、自らデータを収集した。</p> <p>結果、既に日本で実施された約300件の全MBOに関する18項目のデータ、親会社からMBOで独立した約50社からの33項目のアンケート回答、そして親会社からMBOで独立した13社のケースなどをデータベースとして研究に活用することができた。</p> <p>本研究の主な成果として、日本のMBOの全体像と将来像、事業再編型MBOの実態を明らかにすることができた。また、事業再編型MBOによる業績向上要因が“事業再編型MBOによるメリット/デメリットのスイッチング効果”によるものであることが判明した。そして、事業再編型MBOに関連する指針として“MBOを実施するための5つのポイント”や“組織を変革するための3つのポイント”を作成した。最後には、日本経済活性化のため、MBOの活用を促す戦略提言を行っている。</p>					